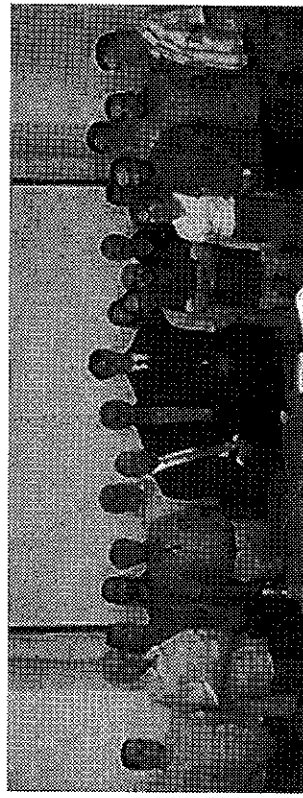


「西山宗因全集」が文部大臣賞

山口大学 西山宗因全集が文部大臣賞

山口大学医学部附属病院 新病棟にホスピタルアート設置

山口大学医学部附属病院 新病棟にホスピタルアート設置



ブダペスト技術・経済大学の応用地質・地盤工学グループのメンバーと清水教授(中央左)、ハンガリー岩のカラスティニ村(右)を視察した。ブダペスト技術・経済大学では、宇宙技術による地盤・大規模崩壊

山口大学大学院創成科学研究科社会建設工学分野の清水則一教授(応用衛星リモートセンシング研究センター副センター長)は、クロアチア、ボスニア、ヘルツェゴビナ、マケドニア、セルビア、スロベニアを訪問し、衛星リモートセンシング技術であるDORSAR(合成開口レーダ差分干渉法)による地盤変位監視技術の適用に関する共同研究を進めている。9月7日から13日の日程でクロアチア、ハンガリー、ブルガリアの諸国を訪問した。



広島大学短期交換留学プログラム 留学生による中間発表会

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)の留学生53人(北米・欧州・オセアニア・アジア出身)が12月12日、東広島キャンパスの学生プラザで「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト: 大学と地域の協働」留学生の自助支援: 適応と再適応」実践研究グループプロジェクト第1回中間発表会を開催した。17カ国41大学からの交換留学生53人で構成する8グループが、HUSA

担当の恒松直美・森戸國隆高等教育学院准教授による英語と日本語の同会・進行のもと実践プロジェクトの進捗状況について発表を行った。現在、留学生の自助支援プロジェクトの一環として大学における適応支援と再適応支援の研究グループプロジェクトを組んでいる。発表会は、地域公開として開催され、学内の教員・大学院生・留学生・日本人学生・地域行政関係者からフイードバックがあった。

模構造物の変位監視」の題目で特別講演を行い、ブダペスト市内の地盤沈下や郊外の地すべりに対して、宇宙技術による変位監視の適用の可能性が議論された。最後にブルガリアでは、ソフィア市で開催された「構造物と地盤の計測技術に関するワークショップ」で基調講演を行った。ブルガリア国内では地すべりが多発し社会的にも大きな問題となっている。清水教授が今回の講演のために実施した回国里海岸沿岸の地すべり挙動のDORSAR解析結果を紹介したところ、大きな反響があり共同研究へと進展した。

山口大共同獣医学部 章晋勇さん 若手外国人農林水産研究者表彰

山口大学共同獣医学部の外国人研究者の章晋勇さん(受入教員:佐藤宏教授)が、11月6日に開催された農林水産省の「2018年(第12回)若手外国人農林水産研究者表彰(Gapp Award)」において、農林水産技術会議会長賞を受賞した。

表彰は、開発途上地域の農林水産業及び関連産業に関する研究開発に貢献する若手外国人研究者(40歳未満を対象)の一層の意欲向上に資することを目的として、毎年3名を限



度(章晋勇さん)に授与される。章さんは「養殖淡水魚における致死的大発生要因となる多様な微生物の研究及び生物学的疾病予防方策の開発」に貢献する研究業績が評価された。